

## (第2回)契約変更の内容

契約変更年月日	令和8年2月13日
契約業者名	洋伸建設株式会社
契約業者の住所	広島市中区上八丁堀4番1号
工事の名称	広島港海岸中央西地区(江波・吉島)護岸(改良)築造工事
工事場所	原契約のとおり
工事区分	港湾土木工事
工事概要	別添工事数量総括表のとおり
工期(自)	原契約のとおり
工期(至)	令和8年3月27日
変更前の契約金額	219,961,661円(税込)
変更金額	34,100,000円(税込)
変更後の契約金額	254,061,661円(税込)
変更理由	別添変更理由書のとおり

# 工 事 数 量 総 括 表

本工事数量総括表は、設計図書として入札・契約時の競争性・透明性を詳細に知らせるための資料であり、完成検査時の確認及び設計変更の対象数量ではない。

工事数量総括表

工 事 名	広島海岸中央西地区（江波・吉島）護岸（改良）築造工事（変更2回）				事業区分	海岸整備事業
					工事区分	護岸(改良)
工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量 増△減	摘 要
護岸（改良） 【江波工区】						
構造物撤去工			原契約のとおり			
取壊し工			原契約のとおり			
撤去工			原契約のとおり			
陸間撤去	3,007kg/基(日本GLP)	基本	1	1	0	海上・陸上運搬
支柱撤去	φ116 H=3.88m		0	1	1	海上・陸上運搬
護岸基礎工						
笠コンブロック工			原契約のとおり			
笠コンブロック			原契約のとおり			
目地材			原契約のとおり			
漏えい防止シート			原契約のとおり			
中詰コンクリート			原契約のとおり			
清掃	かき落とし	m2	0	75	75	既設鋼矢板40m
裏込・裏埋工						
底張コンクリート工						
型枠	妻部					
目地材	瀝青繊維質 t=10mm	m2	42	52	10	
漏えい防止シート	不織布		原契約のとおり			
底張コンクリート	18N-45-20（水中不分離性コンクリート）		原契約のとおり			
護岸本体工						
現場打ちコンクリート工						
支保		m	160	160	0	
差筋(1)	SD345 D13 L=700mm		原契約のとおり			
差筋(2)	SD345 D16 L=700mm		原契約のとおり			
差筋(3)	SD345 D16 L=600mm		原契約のとおり			
差筋(4)	SD295 D13 L=600mm		原契約のとおり			
差筋(5)	SD295 D13 L=900mm	kg	52	54	2	60本
差筋(6)	SD295 D13 L=600mm		原契約のとおり			
差筋(7)	SD295 D16 L=400mm(アンカー含む)		原契約のとおり			
充填材(1)	プレミックス 1,875kg/m3 φ33 L=360mm		原契約のとおり			
充填材(2)	プレミックス 1,875kg/m3 φ36 L=360mm		原契約のとおり			
充填材(3)	プレミックス 1,875kg/m3 φ36 L=310mm		原契約のとおり			
充填材(4)	プレミックス 1,875kg/m3 φ33 L=310mm		原契約のとおり			
充填材(5)	プレミックス 1,875kg/m3 φ33 L=460mm	箇所	58	60	2	0.384 L/箇所(割増含む)
削孔(1)	φ33 L=360mm		原契約のとおり			
削孔(2)	φ36 L=360mm		原契約のとおり			
削孔(3)	φ36 L=310mm		原契約のとおり			
削孔(4)	φ33 L=310mm		原契約のとおり			
削孔(5)	φ33 L=460mm	孔	58	60	2	
削孔(6)	φ20 L=100mm		原契約のとおり			
型枠(1)	鋼製	m2	407	384	▲ 23	
型枠(2)	木製 妻部	m2	16	15	▲ 1	
目地材	瀝青繊維質 t=10mm	m2	16	15	▲ 1	
コンクリート打継目処理	接着剤 エポキシ樹脂系	m2	120	120	0	
コンクリート	18N-8-40	m3	124	117	▲ 7	
ひび割れ補修工						
ひび割れ補修	充填工法 幅5mm~8mm	m	23	68	45	陸側 L=14m、海側 L=54m
雑工						
防潮機能対策						
大型土のう	耐候性大型土のう 短期仮設(1年)対応	袋	0	20	20	製作(裏込材流用)・設置・撤去(陸上運搬含む)
復旧工						
アンカー	片爪アンカー(溶融亜鉛メッキ含む)	個	0	8	8	280kg/個
係留施設等設置		式	0	1	1	付属品・運搬一式含む
護岸（改良） 【吉島工区】						
構造物撤去工						
取壊し工						
コンクリート取壊し	無筋構造物、人力取壊し	m3	9	5	▲ 4	
コンクリート殻処分	無筋コンクリート	m3	9	5	▲ 4	海上・陸上運搬
撤去工			原契約のとおり			
護岸基礎工[1-2工区]						
基礎捨石工						
捨石投入	10~200kg/個	m3	595	613	18	
捨石荒均し	±50cm 水中	m2	376	435	59	

工事数量総括表

工 事 名	広島港海岸中央西地区（江波・吉島）護岸（改良）築造工事（変更2回）				事業区分	海岸整備事業				
					工事区分	護岸(改良)				
工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量 増△減	摘 要				
護岸本体工[3-2工区]										
作業土工										
床掘り	土砂	m3	0	4	4					
残土等処分		m3	0	4	4	海上・陸上運搬				
現場打ちコンクリート工										
支保		m	25	44	19					
足場	単管傾斜足場	m2	259	259	0					
差筋(1)	SD295 D13 L=600mm	}	原契約のとおり			91本				
差筋(2)	SD345 D25 L=600mm					90本				
差筋(3)	SD295 D16 L=400mm(アンカー含む)					0.259 L/箇所(割増含む)				
充填材(1)	プレミックス 1.875kg/m3 φ33 L=310mm					0.398 L/箇所(割増含む)				
充填材(2)	プレミックス 1.875kg/m3 φ45 L=310mm									
削孔(1)	φ33 L=310mm									
削孔(2)	φ45 L=310mm									
削孔(3)	φ20 L=100mm									
型枠(1)	鋼製					m2	341	341	0	
型枠(2)	木製 妻部					m2	33	33	0	
止水板	CF 200×5	m	10	10	0					
目地材	瀝青繊維質 t=10mm	m2	36	36	0					
コンクリート打継目処理	接着剤 エポキシ樹脂系	m2	原契約のとおり							
コンクリート	18N-8-40	m3	204	204	0					
係船金具	100KN型	基	0	1	1	設置・撤去				
雑工										
立入防止柵工										
企業防護金具復旧		基	1	1	1					
仮設立入防止柵撤去・復旧		基	1	0	▲ 1					
【全工区】										
共通仮設										
共通仮設費										
運搬費			原契約のとおり							
事業損失防止施設費										
水質汚濁防止膜(1)	カーテン丈長 1m	式	1	1	1	江波工区 3スパン(60m)				
水質汚濁防止膜(2)	カーテン丈長 3m	式	1	1	1	吉島工区 5スパン(100m)				
安全費										
標識	灯浮標	式	1	1	1					
安全対策	安全監視船	式	1	1	1					
技術管理費										
技術管理		式	0	1	1					
現場環境改善費										
現場環境改善費	快適トイレ	式	0	1	1	江波工区、吉島工区				
I C T基礎工										
I C T基礎工		式	0	1	1					

## 変更理由書

1. 工 事 名 広島港海岸中央西地区（江波・吉島）護岸（改良）築造工事

2. 工 期 令和7年3月26日 ～ 令和8年2月20日

3. 請負代金額 219,961,661円（変更1回含む）

### 4. 変更理由

本工事は、広島港海岸中央西地区（江波）護岸（改良）の構造物撤去工、護岸基礎工、護岸本体工及び、広島港海岸中央西地区（吉島）護岸（改良）の構造物撤去工、護岸基礎工、護岸本体工、雑工を施工するものであるが、今般、以下の理由により設計図書を変更する必要が生じた。

- 1) 護岸本体工：係船金具の設置・撤去  
既設係船設備が施工期間中使用できないため、仮設の係船柱設置に変えて、係船金具を設置・撤去する。
- 2) 設計図書の誤謬  
設計図書照査の結果、護岸基礎工（底張コンクリート工）の目地材数量の誤謬が判明したため、変更する。
- 3) ICT活用工事：ICT活用工事の費用の計上  
ICT活用工事に協議が整ったため、必要な費用を計上する。
- 4) 共通仮設：ICT活用施工管理モデル工事に要する費用の計上  
ICT活用施工管理モデル工事の実施内容が決定したため、必要な費用を計上する。
- 5) 共通仮設：間接工事費等諸経費動向調査の追加  
本工事は間接工事費等諸経費動向調査の対象となったため、技術管理費を追加する。
- 6) 共通仮設：「施工実態調査」の追加  
本工事は「施工実態調査」の対象となったため、技術管理費を追加する。
- 7) 護岸基礎工：基礎捨石工の数量の変更  
起工測量の結果、設計図書と深浅値の相違が判明したことから、基礎捨石工の施工数量を変更する。なお変更に伴い、事業損失防止施設費および安全費を変更する。
- 8) 護岸本体工および構造物撤去工の数量の変更  
現地確認の結果、設計図書と施工範囲に相違があったため、護岸本体工（嵩上げコンクリート工）、構造物撤去工の施工数量を変更する。
- 9) 雑工：防潮機能対策の追加  
既設陸閘撤去後の安全確保のため、防潮機能対策を追加する。

- 1 0) 雑工：かき落としの追加  
既設鋼矢板にかき殻等の付着が確認されたため、コンクリートとの附着・一体化のためかき落としを追加する。
- 1 1) 雑工：立入防止柵工の変更  
仮設立入防止柵の撤去・復旧を取りやめる。
- 1 2) 雑工：立入防止柵の加工  
関係機関との調整が整ったため、企業防護金具の加工内容を変更する。
- 1 3) 撤去工：支柱撤去の追加  
護岸上に設置されている支柱が護岸本体工の支障となるため、撤去を追加する。
- 1 4) 撤去工：陸閘撤去 仮置き場所の変更  
関係機関との調整の結果、撤去した陸閘の仮置き場所を変更する。
- 1 5) 本体工 ひび割れ補修工：補修箇所および延長の変更  
現地ひび割れ状況を踏まえ、ひび割れ補修の補修箇所、延長を変更する。
- 1 6) 共通仮設費（現場環境改善費）：快適トイレに係る 費用の計上  
快適トイレの設置を確認したため、その費用を計上する。
- 1 7) 雑工（復旧工）：係留施設等設置の追加  
関係者との調整が整い、早期に復旧する必要があることから追加する
- 1 8) 工期：工期の延伸  
係留施設等設置の追加に伴い、工期延伸の必要があることから令和8年3月27日まで工期延伸を行う。